平和と人権」市民ネットワーク情報　N019-8

事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　2019.8/22

党派を超え選挙を盛り上げよう　永島香

投票日前最後の金曜日、いつも通りスタンディングをしている時に、三島駅前に「立憲民主党」と「国民民主党」の旗が並んだ事がありました。立憲民主の旗は私の仲間が持っていたもの、国民民主の旗は私達のスタンディングが終わる６時から街頭演説を行おうとしている榛葉陣営の旗でした。その時のその光景が、私は「いいな」と思ったんです。この場に各政党の旗が並んだらいい、政党の垣根をこえて、みんなで「選挙」を盛り上げていったらいいと思ったのです。

各地でマルシェというものがたくさん開催されていますが、選挙マルシェみたいな、各政党の言い分を聞いて回れるお祭りのようなものが日本中であってもいいんじゃないか？そんな風に思いました。

私の友達（幼稚園のママ友）は、政治について話したことはありませんでしたが、今回れいわ新選組の訴えが心に響いたようで、毎日ラインのタイムラインという所に、山本太郎の動画や応援の投稿をしています。初めて政治に興味持ったと書いてありました。ただそれに対する周りの反応は冷ややかですが、、、私はとても嬉しいです。

選挙戦最後の金曜日の６時から、三島駅前では榛葉さんが大勢の人を集めて街頭演説を行なったようです。そこから少し離れた楽寿園の入り口で立憲民主の長妻さんが来て徳川さんの応援をしましたが、人はまばら、20 人ぐらいしか集まらず、とても寂しい感じでした。どんな国会議員が来てもダメで、地元での動員力がなければ弱いと感じました。

ネット上では選挙カーに対する嫌悪を示す人もかなり多くいるようです。「興味がない」から「選挙や政治が嫌で仕方がない」というように変化しているようにも見えます。それは以前選挙前にシール投票をやっていた頃に、若い男性が私達に向けた、冷たい、こっちに来るなというような攻撃的な視線からも感じた事です。長々と書いてしまい、すみません。党を超えて、選挙をやろうとしている人みんなで選挙を盛り上げなければ、というのが私が今回感じた事です。今は選挙をやっている人の中でしか盛り上がっていないのです。

(※後日の補足メール)

選挙マルシェなんていうのは無いんですが、例えば屋外で各党が（屋外であることと、各党がという所がポイントです）テントを張って市民が政策を聞いて回ったりできる場があったらいいと思いました。こんな記事がありました。

https://m.huffingtonpost.jp/asaki-abumi/norway-election_b_8130662.html

とにかく今は選挙・政治と、市民がとても遠くなってしまっています。そこをなんとかしたいです。　永島

【紹　介】

永島さんは裾野市にお住まいで、子育て真っ最中です。他のママさんたちと「tea＋α」をつくり、政治を市民に身近なものにするための活動をしています。「市民ネットワーク」と「アクション」の会員になっていただいています。

寄稿　安倍一党を奈落の底に突き落とす秋　戸田斉

それこそ選挙の度に票を減らして来た自民党、今回の選挙でもまたまた減らして半数にも達していない状況でも、国民の皆様の賛同を頂いたので憲法改正に向けて邁進するとのコメントを出して、半数を超える無関心層に訴えかけざるを得ない無念さをさらけ出した選挙を見れば、我々も愈々最終決断を惜しまず、安倍一党を奈落の底に突き落とす時期を迎えたと考えるべきなのだろう。一部惜敗した地域もあったが、選挙の最後までせったイージスアショアーの秋田、忖度一郎を蹴落とした新潟、等々最後に決め、また現職相手だっただけに余計ブロウを効果的なものにしただろう。一方で全般に静かな選挙にさせたのも敵の手の内、色々論点に事欠かなかったし、メデイアの忖度、国民の目を逸らそうとする数々のお膳立てや党首がいつ、どこに現れて演壇に立つか云えないトップ政党（普通なら逆の筈）、とうとう警察を使って反対派の野次などを抑えたり、排除までする政党ってどこの民主主義国家？こういった兆候は厳しく糾弾する必要があると思うのだが、さてどこへ行くのか全く心許ない限り。

話し変わって、近所に今まで一度として選挙に行ったことがないと公言して憚らなかった人が、直後序でがあったから選挙に行ってきたとおっしゃる、しかも当の改憲政党に入れたと。近所で色々話す機会が多く、時期的に選挙も話題にしていたせいかとも思うが、改憲政党と聞いて、やっぱりとは後の祭りである。日頃新聞には熱心に目を通しているようなのはいいのだが、この人が消費税の廃止乃至削減に絡む代替税源での富裕層や株、法人税への強化には反対、むしろ２％程度だったら消費税で済むものならこっちを上げてもらった方が、と宣う。その言い分というのは金持ちなり富裕層なりはその人の努力、働きがあったからこそであって、それに対して増税を以って報いるのは全く理解出来ないと。この人、収入としてはどこかに保有している（と私が思っている）いわゆるマンションの賃貸収入と若干の株、親から受け継いだかなりな？資産保有者なのだが。だから現在はそれほど高収入ではないと思われるが、妙に金持ち派なのだ。中国が攻めてきたらどうするのだ、だから自衛隊は必要なのだ式の議論になるのだろうけれど、少し気になるので敢えて書き加えて、富裕層への課税強化は是か非か、詰めて考えておきたい、と思ったので末尾に記しておきます。

福島の子どもたちの 保養ステイ報告

保養ステイを終えて

増山美子

今年も１３人の小学生が保養ステイに参加し、伊豆高原の自然を楽しんで帰りました。原発事故から９年が過ぎ、６年生でも当時のことは知らない子どもたちになりました。福島では事故後除染がされたとは言え、山には放射能を含んだ落ち葉や苔がそのままですし、除染土の入ったフレコンパックは地域の見えにくい所や家の片隅などに積んであります。オリンピックムードの中で福島の報道は少なくなりましたが、事故を境に子どもの甲状腺ガンが毎年増え続け、近年は大人のガンも増えていて「アンダーコントロール」とはほど遠いのが現実ですが、そういう中で生活をせざるを得ない人達も沢山おられます。保養への要求は高いにも関わらず、公的な支援はありません。負の遺産を残してしまった私たちは出来ることをやっていこうという思いで取り組みを続けています。

今年の子どもたちは、池の田んぼでたまたま出会ったザリガニ取りの方々と一緒にザリガニ取りをさせてもらったり、森のボランテイアの方々のすばらしい竹の遊具で自分の力を試したり、大室山を歩いたりと梅雨明けの５日間を目いっぱい遊びました。多くの方々がカンパを始め、暑い中、毎日子どもたちと一緒に過ごしたり、畑で出来た作物を持ってきたり、朝７時からの準備を手伝うなど、様々な形で協力してくださいました。本当に感謝でいっぱいです。ありがとうございました。今後も「〈福島〉は終っていない」という発信を続けていきながら、来年の保養ステイに向けての活動も続けていく予定です。

原　稿　募　集

伊東市議会・新議員への要望・意見

◆伊東市議会・議員選挙は、９月１５日公示、同２２日投票の日程で行われます。報道によれば多数の立候補者の間で激しい選挙戦が予想されます。

さて、当選した新議員と議会に期待される役割は何でしょうか。新議会は佃元市長のワイロ事件を生んだ市政を刷新する有効なチェック機能を果たせるでしょうか。また、人口減や少子高齢化が進む中で、子育て支援や医療・介護など福祉の充実と、移住者・観光客を誘致する政策実現は待ったなしの課題です。新議員においては"おらがとこの代表”にとどまらない全市的な課題解決に取り組む識見と能力が求められています。

本誌では、読者の皆さんから新議会・新議員に何を期待し、要望するか、ご意見を伺うことにしました。いただいたご意見・要望は次号以下に掲載するとともに、議会事務局に要望書の形で提出したいと考えています。要領は以下の通りです。

①テーマ…市議会・新議員に要望し、期待すること。

②字　数…150 字～200 字

③期　限…９月１５日(日)

④返送方法

イ)メールを使われる方は、下記のアドレスにお送りください。

miyog341g3@amber.plala.or.jp　　三好康昭　宛

ロ)郵送される方は、同封の返信封筒に切手を貼付して、下記住所にお送りください。

〒414-0044　　伊東市川奈 1365-7　三好康昭　宛

⑤匿名希望の方はその旨をお書きください。

市議選、公開討論会のお知らせ

◆「ITO アートサロン」(代表　佐藤房子さん)が主催して、市議選立候補予定者の公開討論会を開きます。日時・会場等は以下の通りです。(案内チラシを参照)

・日　時…９月１日(日) 14:00～16:30

・会　場…伊東市健康福祉センター

(伊東市桜木町２－２－３　☎ 0557-36-8688)

・入場料…無料

・事務局…伊東市宇佐美 3226-48　℡0557-48-6295

◇市民アクションからの連絡☆

・「9 の日行動」…9 月 9 日荻地域共同署名活動→14:00 荻の重岡秀子さんの事務所に集合。

・「19 日行動」……9 月 19 日は市議選直前のため、観光会館前のスタンディングは実施しません。